

高岡商工会議所 伏木支所 メモリアル展示

港町として栄えた伏木の象徴を再現

高岡商工会議所伏木支所の建物は、明治43年（1910）に伏木銀行として建築されたもので、洋風のデザインを取り入れた、港町伏木を象徴する建築でした。しかし、令和6年1月1日に発生した能登半島地震で被災。その後、惜しまれながら公費解体されました。



被災の状況

解体前の伏木支所を記憶にとどめていただくために、柱や銘板の実物、説明パネルなどを展示しています。



伏木支所のあゆみ

伏木銀行のあった湊町は、明治時代のビジネス街であり、昭和初期には6行もの金融機関が存在していました。また、運送会社などの支店が立ち並び、その資金需要も旺盛でした。昭和4年（1929）には、伏木殖産銀行と伏木銀行が合併し、伏木商業銀行となります。

その後、昭和48年（1973）に、高岡商工会議所がこの建物を買取り、「高岡商工会議所伏木支所」としました。所有者が変わっていく中で、「使いながら保存」されており、保存状態もよく、高岡商工会議所伏木支所は、平成8年（1996）に発足した国登録有形文化財制度の「第1回認定富山県第1号」を受けました。



「登録有形文化財」の
富山県第1号認定パネル

モニター展示で紹介

タッチパネルで画像や図面、360°ビューなどをご覧ください。

